

所沢市民文化センター ミュース

運 営 方 針

(平成29年度)



公益財団法人所沢市文化振興事業団



文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

【6つの目標と課題、方策】

運営方針では、①優れた芸術文化を提供・発信していきます②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します③利用しやすいミューズをめざします④親しみやすいミューズをめざします⑤健全な事業団運営に努めます⑥安心・安全な施設の維持管理に努めます の6つの目標を掲げ、それぞれについて課題と方策を提示しました。今後は、ここに示した方策について、事業計画や施設の管理運営、事業団運営の中で具体的に取り組んでいきます。

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

- ①音楽、演劇、伝統芸能、映画、展示会などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。
 - 著名なアーティストによる公演の充実
 - 優れた作品の積極的な紹介
- ②多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供します。
 - 市民の誰もが芸術文化に気軽に親しめる公演の充実
 - アウトリーチ事業（出張コンサート）などの充実
 - 情報市場（中庭）でのイベントの実施
- ③ミューズのシンボル、パイプオルガンの普及
 - 優れたアーティストによる公演の充実
 - 若手オルガニストの育成
 - 気軽に鑑賞し、体験できる機会の充実
- ④誰もが参加できる体験講座などを開催します。
 - 市民参加事業の充実
 - 青少年の豊かな人間性を育む事業の充実
 - 文化講座やワークショップの開催
- ⑤芸術文化に関わる情報を積極的に収集して広く発信します。
 - 芸術文化情報の収集・発信
 - 広報媒体の充実
 - インターネットを活用した新鮮な情報の発信

②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

- ①芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進します。
 - 所沢市やまちづくりセンターなどと連携した地域の活性化の支援
 - 市内の教育機関、文化団体や市民団体との連携
 - 青少年や高齢者等、市民のための無料招待公演の実施

②地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成をめざします。

- 市内文化団体の活動支援
- 芸術に携わる学生の活動支援

③創造事業を推進し広く発信していきます。

- 芸術家の創造活動の支援
- 市民参加による芸術的創造の促進
- 創造事業の推進と発信

③利用しやすいミュージズをめざします

①利用しやすいミュージズをめざします。

- 申請・受付時のサービスの充実
- 利用者ニーズの把握と対応

④親しみやすいミュージズをめざします

①親しみやすいミュージズをめざします。

- メンバーズクラブの充実
- 利用しやすいチケット販売方法の充実
- 利用しやすいレストラン経営のための連携

⑤健全な事業団運営に努めます

①健全な法人運営を進めます。

- 安定した組織体制づくり
- 組織力の強化
- 個人情報の保護
- 積極的な情報公開

②健全な財政運営を進めます。

- 予算の効率的な執行
- 事業評価制度の活用
- 自主財源の確保

⑥安全・安心な施設の維持管理に努めます

①環境に配慮した地球にやさしい施設の維持管理に努めます。

- 省資源・省エネルギーの推進
- 廃棄物の減量化・再資源化の推進

②安全・安心・快適な施設の維持管理に努めます。

- 小さなお子様、身体の不自由な方、高齢者にもやさしい施設の維持管理
- 災害時の対応についてのスキルの向上

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

課題

①音楽、演劇、伝統芸能、映画、展示会などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。

《現状と今後の方針》

所沢市民文化センター ミューズ（以下、ミューズ）は、1993年に本格的な3つのホールを有する文化施設としてオープンし、埼玉県はもとより関東圏でも屈指の規模を誇ります。ミューズには、市民の誰もが親しみやすい事業展開と、同時に芸術文化の殿堂として広く世界に発信される水準の高い自主事業展開が求められます。そこで、今後も多くの市民が豊かで文化的な生活を実感できるように、音楽、演劇、伝統芸能などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供していきます。

具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">●著名なアーティストによる公演の充実 クラシック、演劇・ミュージカル、ポピュラー音楽、落語など様々なジャンルにおいて人気・実力とトップクラスの著名なアーティストによる公演を身近に鑑賞できる機会を充実していきます。●優れた作品の積極的な紹介 音楽や演劇、能楽・歌舞伎・寄席などの日本の伝統芸能をはじめ世界各地の民族芸能などを幅広く紹介していきます。また様々な事業を通じて、名作として親しまれている作品を積極的に取り上げ、幅広く紹介していきます。
--------	--

指標	自主事業の観客入場率 （全事業の年平均）	【現状値】70%（4年間の平均）⇒【目標値】75%（H29）
	【説明】優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するための取り組みの成果を示す指標です。現状値は平成24年度から27年度の4年間で実施した事業団の全事業の平均観客入場率であり、平成29年度は平均観客入場率75%を目指します。	

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

課題 ②多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供します。

《現状と今後の方針》

ミュージズは開館以来、様々な事業に取組み多くの方々に芸術文化に触れる機会を提供してきましたが、さらに幅広い世代へ芸術文化に触れる機会を提供し、いっそうの普及と拡大を図っていくことが求められます。そこで今後も、多くの市民が様々なジャンルの芸術文化に触れる機会を継続して提供していきます。

具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">●市民の誰もが芸術文化に気軽に親しめる公演の充実 様々なジャンルで、幅広い世代の方が楽しめる公演を企画し、「気軽にクラシック」「500円コンサートシリーズ」「名画シアター」など、誰もが気軽に低料金で楽しめる公演の充実を努めます。また、「能楽講座」「フルートはじめて講座」など、初心者から気軽にその世界を楽しむことができる事業にも積極的に取り組んでいきます。●アウトリーチ事業(出張コンサート)などの充実 市内の小・中学校や市役所、リハビリテーションセンター、高齢者施設などを対象に、ミュージズに出演するアーティストによる出張コンサートや寄席公演を実施し、日頃ミュージズに来場する機会が少ない子供や高齢者が芸術文化に親しむきっかけを作ります。また、まちづくりセンターとの連携事業では、地域の方が気軽に芸術文化に触れる機会を提供していきます。●情報市場(中庭)でのイベントの実施 誰もが気軽に楽しめるミュージズオリジナルのイベントを開催します。また、自主事業に関連した“賑わいの場”“集いの場”として活用することで、ミュージズが多くの市民にとって開かれた場となるように努めていきます。
--------	--

指標	普及事業の開催数	【現状値】35回(4年間の平均)⇒【目標値】35回(H29)
	【説明】芸術文化に触れる機会を提供し、その普及と拡大への取組状況を示す指標です。 平成24年度から28年度の運営方針では、平成22年度の普及事業の開催数(15回)を現状値とし、5年間で100回(年間20回)を目標値としていましたが、平成27年度までの4年間で既に141回に達しています。 現状値は4年間の平均開催数であり、平成29年度においてはこれまでの取組を継続し、年間35回を維持します。	

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

課題

③ミューズのシンボル、パイプオルガンの普及

《現状と今後の方針》

ミューズでは大ホールに設置されている国内最大級のパイプオルガンを使って、スクールを開講したりコンサートを開催してきました。今後も、このパイプオルガンをミューズのシンボルとしてさらに多くの方に親しんでいただくために、質の高い演奏を聴く機会を提供するほか、気軽に聴いていただくことや、直接演奏の体験をしていただける機会を提供していきます。

具体的な の方策	●優れたアーティストによる公演の充実 国内最大級のパイプオルガンの響きを聴いていただくために、国内外の優れた演奏家による公演を実施し、オルガンの本格的な演奏を聴く機会を提供していきます。
	●若手オルガニストの育成 若手の演奏家をホール専属オルガニストに登用するなど、大ホールのオルガンを広く普及するための様々な企画や演奏会へ参加する機会を設け、ミューズのパイプオルガンを通じて幅広く活躍できる演奏家に育成していきます。
	●気軽に鑑賞し、体験できる機会の充実 0歳から入場できる「お昼どき 500 円コンサート」を継続的に実施し気軽に鑑賞していただける機会を提供します。また、「ミューズとことこ探検ツアー」などミューズのパイプオルガンを演奏体験できる企画を実施していきます。 さらに「ミューズパイプオルガンスクール」「オルガン特別講座」では、年間を通じて本格的に演奏技術や知識を習得していただける機会を提供していきます。

指標	パイプオルガン 関連事業の入場者数	【現状値】 6,500 人（4年間の平均）⇒【目標値】 7,000 人（H29）
	【説明】パイプオルガン普及事業の成果を示す指標です。現状値は平成24年度から27年度の4年間に実施したパイプオルガン関連事業の平均の入場者数であり、平成29年度の1年間で7,000人を目指します。	

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

課題

④誰もが参加できる体験講座などを開催します。

《現状と今後の方針》

近年、芸術文化に対するニーズがますます多様化する中、様々な分野で鑑賞だけでなく自ら参加し、体験・創造する事業の実施が求められています。そこで今後も、誰もが体験でき、参加できるワークショップや講座などを開催し、芸術文化に深く触れていただく機会を提供していきます。

具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">●市民参加事業の拡大 パイプオルガンスクール、能楽やミュージカルのワークショップ、フルート講座など、専門家の指導により本格的な技能を学習し、その成果を発表する場を提供していきます。また、市民参加による合唱団とプロのオーケストラの共演など、より高度で質の高い芸術文化を体験する機会を提供していきます。●青少年の豊かな人間性を育む事業の拡大 ミューズで開催する公演に関連し、高校生とプロのオーケストラとの共演、小・中・高校生の公開リハーサルへの招待、また近隣大学の協力や教育機関等との連携により若い世代が芸術文化に深く関わる機会を提供し、次代を担う人材の育成を目指していきます。●文化講座やワークショップの開催 鑑賞するだけでなく、誰もが能動的に芸術文化に親しむことができるよう、子供から大人まで参加できるワークショップを開催します。また文化的な講座を通じてより深く芸術文化に親しむ機会を提供していきます。
--------	--

指標	体験講座への参加者数	【現状値】527名（H27）⇒【目標値】600名（H29）
	【説明】誰もが参加できる体験講座への取組の成果を示す指標です。現状値は平成27年度の体験講座の参加者数であり、平成29年度の1年間で600名を目指します。	

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

①優れた芸術文化を提供・発信していきます

課題 ⑤芸術文化に関わる情報を積極的に収集して広く発信します。

《現状と今後の方針》

芸術文化活動の拠点としてのミューズは、自主事業の実施とそれに伴う様々な芸術文化に関わる情報を収集し発信していくことが求められます。これまで様々な形で情報を発信していますが、市民の要望はより多様化し、情報を取巻く状況も時代とともに大きく変動しています。こうした状況をふまえ、ミューズでは既に市民に親しまれている情報媒体のみならず、時代に合った様々な新しい媒体も十分に活用し、芸術文化に関わる有益で新鮮な情報を発信していきます。

具体的な方策	<p>●芸術文化情報の収集・発信 アーティストや芸術作品に関する情報を収集し自主事業や情報媒体を通じて発信するとともに、市内のまちづくりセンターや学校等への情報提供を通じて、広く市民に新鮮な情報を発信していきます。また、芸術文化の専門誌等を揃えた閲覧コーナーを設置するなど、芸術文化を取巻く情報に誰もが触れられる環境づくりに努めていきます。</p> <p>●広報媒体の充実 自主事業の告知を行なう月刊情報紙や公演ちらし、芸術文化に関する総合的な読物である『インフォーマット』など、広報媒体をいっそう充実させることで、多くの市民が芸術文化に関心を持つきっかけをつくります。また新聞・雑誌・フリーペーパーなどを活用し、多様な関心を持つ市民に広く情報を発信していきます。</p> <p>●インターネットを活用した新鮮な情報の発信 ミューズのホームページを活用し、新鮮でわかりやすい情報を公開します。平成24年度にはホームページを全面リニューアルし、随時更新により最新の情報を発信しています。またツイッターとフェイスブックも活用し、アーティスト情報などきめ細やかで即時性のある情報提供を行っています。今後も、動画などのメディアを有効に活用し、より広範囲で専門的な情報を効率的に発信できるよう工夫していきます。</p>
--------	---

指標	<p>ホームページへの アクセス件数</p> <p>【現状値】375,000件(H27) ⇒ 【目標値】400,000件(H29)</p>
	<p>【説明】芸術文化情報の収集と発信への取り組みの成果を示す指標です。現状値は平成27年度のホームページアクセス件数であり、平成29年度の1年間で400,000件を目指します。</p>

②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

課 題

①芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進します。

《現状と今後の方針》

ミュージズの自主事業では、ホールで行う、いわゆる鑑賞型の事業のみならず、地域と連携し市民の目線にたった事業を展開することも求められます。そこで今後も、引き続き所沢市、教育委員会、まちづくりセンターなどの協力のもと、市内の各施設や市民団体と緊密な連携を図り、芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進していきます。

具体的な 方策

●所沢市や、まちづくりセンターなどと連携した地域の活性化の支援

所沢市が推進する「音楽のあるまちづくり」事業及び、市内各地区のまちづくりセンターとの共催事業に積極的に取り組み、所沢市及び各地域の活性化に努めていきます。

また、芸術文化を通じて「所沢ブランドの発信」に重点を置いた取組みを推進していきます。

●市内の教育機関、文化団体や市民団体との連携

教育委員会との協力体制を活かし市内小中学校との連携を図り、小中学生を対象とした文化振興事業を展開していきます。

また、市内の高等学校、大学及び文化団体、市民団体等とプロのアーティストとの共演を企画していくほか、市民の実行委員会と「夢あかり音楽会」を開催するなど、市民との協働による事業展開を目指していきます。

●青少年等、市民のための招待公演や優待公演の実施

所沢市に転入された方にいち早くミュージズを知っていただくために、自主公演への「市内転入者招待企画」を継続的に実施していきます。

また、公演に来場する機会が少ない青少年等を対象とした招待あるいは、優待公演を実施し誰もが芸術文化に身近に触れる機会を提供していきます。

指 標	地域活性化事業の開催数	【現状値】23回(H27)⇒【目標値】25回(H29)
	【説明】地域コミュニティ活性化への取組状況を示す指標です。現状値は平成27年度の地域活性化事業の開催数であり、平成29年度の1年間で25回を目指します。	

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

②文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

課題

②地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成をめざします。

《現状と今後の方針》

ミュージズには、高い水準の芸術文化の発信と同時に、市民の活動を支援することが求められます。最近では、市民による文化活動も一層多様になり、水準の高いものになりつつあります。そこで今後も、時代の様々なニーズに応え、地域の芸術家や文化団体の支援・育成に積極的に取り組んでゆきます。

具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">●市内文化団体の活動支援 市内に活動の拠点を置き、継続的かつ活発な活動を展開する文化団体の情報を収集し、その活動を支援します。ミュージズの自主事業との連携を図り、内容に応じた発表の場を提供することで、地域に根ざした文化活動のより一層の充実を図っていきます。●市内在住・出身の芸術家の活動支援 市内在住・出身で国際的に活躍する芸術家やこれから活動の場を広げようとする芸術家の情報を幅広く収集し、ミュージズでの事業等に出演していただくなど、その活動を積極的に支援し、地域の活性化を図っていきます。●芸術に携わる学生の活動支援 所沢市に拠点を置く教育機関などと連携を図り、将来芸術家めざす若者に学習と発表の場を提供し活動の支援を行っていきます。また、芸術文化活動の企画・制作などアートマネジメントを学ぶ学生のインターンシップの受け入れを積極的に行っていきます。
--------	---

	芸術文化活動の支援や育成 につながる事業の開催数	【現状値】15回（H27）⇒【目標値】15回（H29）
指標	【説明】地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成への取組状況を示す指標です。 平成24年度から28年度の運営方針では、平成22年度の芸術文化活動の支援や育成につながる事業の開催数（5回）を現状値とし、5年間で50回（年間10回）を目標値としていましたが、平成27年度までの4年間で開催数は既に48回に達しています。現状値は平成27年度の開催数であり、平成29年度においてはこれまでの取組を継続し、年間15回を維持します。	

課題 ③創造事業を推進し広く発信していきます。

《現状と今後の方針》

ミュージズには、伝統のある豊かな芸術文化を育み、さらに後世に伝えられる優れた芸術作品の創造を推進していくことが求められます。20世紀以降は「芸術を消費する時代」と言われていますが、こうした状況を打破するために、自ら創りあげる創造的事業に積極的に取り組むことが必要です。そこでミュージズでは、市民による創造的芸術文化活動を推進するなど、様々な分野で後世に伝えられるべき優れた作品の創造を促進し、その成果を広く発信していきます。

具体的な方策	<p>●芸術家の創造活動の支援 特に水準の高い活動を行う芸術家や芸術団体を継続的に支援し、活動の場を提供することで、地域に根ざした創造活動を促進します。また、芸術文化活動を通して創造の意義と楽しさを感じてもらい、創造を支援するネットワークを形成していきます。</p> <p>●市民参加による芸術的創造の促進 市民の活力を生かした芸術文化活動を推進し、市民の手作りによる創造をはぐくみます。ミュージズを芸術文化活動の総合的な発表の場とし、多くの市民が創造に触れることができる環境を整備していきます。また、自主事業の一部にボランティアを登用するなどミュージズの事業を通して、芸術文化の創造活動に市民が参加できる機会を提供します。</p> <p>●創造事業の推進と発信 市民が自ら作り手として参加し、創造する芸術文化活動を推進するなど、様々な分野で後世に伝えられるべき優れた作品の創造を促進し、その成果を広く発信していきます。</p>
--------	---

指標	創造的事業の開催数	【現状値】7回（H27）⇒【目標値】7回（H29）
	<p>【説明】創造事業の推進への取組状況を示す指標です。</p> <p>平成24年度から28年度の運営方針では、平成22年度の創造的事業の開催数（3回）を現状値とし、5年間で25回（年間5回）を目標値としていましたが、平成27年度までの4年間で開催数は既に27回に達しています。</p> <p>現状値は平成27年度の開催数であり、平成29年度においてはこれまでの取組を継続し、年間7回を維持します。</p>	

③利用しやすいミュージズを目指します

課題 ①利用しやすいミュージズをめざします。

《現状と今後の方針》

ミュージズの大・中・小ホールや展示室、第2展示室、会議室等の施設は、平成27年度では、年間約46.5万人の皆様にご利用いただいております。全施設平均83.2%という高い利用率となっています。今後も多くの方にご利用いただくためには、さまざまな利用に対応できるサービスが求められています。そこで今後も、利用者ニーズの把握と対応につとめ、さらに利用者の利便性の向上を図っていきます。

具体的な方策	<p>●申請・受付時のサービスの充実 事業団では、キャンセル待ち予約サービスや、利用者の方から要望の多かった舞台図面等のWeb公開など、利便性の向上に努めてきました。今後も、より分かりやすい利用方法のご案内や、職員の業務スキルのアップを図るなど、施設利用サービスの充実に努めていきます。</p> <p>●利用者ニーズの把握と対応 多様化する利用者ニーズを常に広く把握するため、定期的に利用者アンケートを実施し、今後も利用者の要望や意見を取り入れ、さらに利用しやすいミュージズを目指していきます。</p> <p>●お客様ニーズの把握と迅速な対応 施設利用者の皆さまから寄せられたご意見は、すべて内容を記録し、ミュージズ全スタッフに周知を図り、いただいたご意見について最善の対応を検討し、管理運営に活かしていきます。</p>
--------	--

指標	施設利用者の満足度	【現状値】97%（4年間の平均）⇒【目標値】100%（H29）
	<p>【説明】利用しやすいミュージズへの取り組みの成果を示す指標です。現状値は、平成24年度から27年度にかけて実施した施設利用者アンケートにおける、施設内の案内表示や設備・備品、清掃、並びに職員の対応についての施設利用者の満足度の平均値であり、平成29年度は年間で100%を目指します。</p>	

④親しみやすいミュージズを目指します

文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

④親しみやすいミュージズをめざします

課 題

①親しみやすいミュージズをめざします。

《現状と今後の方針》

ミュージズは大・中・小ホール、展示室や会議室、レストラン等の各施設が、全国的にも珍しい分棟型となっており、様々な利用形態に対応できる文化施設として多くの方にご利用いただいています。平成27年度に実施した市民アンケートの結果では、ミュージズを利用したことのある方の割合が平成22年度の同様の調査より4.7%アップしていました。また、メンバーズ倶楽部会員も年々増加しています。今後も、サービス向上につとめ、より多くの方々に利用しやすく、親しみやすいミュージズを目指していきます。

具体的な 方策	●メンバーズ倶楽部の充実 従来のチケットの優先販売、割引販売に加えて、メンバーズ優待公演や公開リハーサルへの招待など、メンバーズ限定の特典を充実するほか、継続会員への様々な特典を提供するなど、魅力ある会員特典を用意し、長くミュージズに親しんでいただけるようつとめていきます。
	●利用しやすいチケット販売方法の充実 チケットをより効率的にご購入いただけるよう、インターネットによるチケットの購入方法等の導入を検討します。
	●利用しやすいレストラン経営のための連携 ミュージズに来館される皆様がレストラン・カフェにおいても快適にお過ごしいただき、ご満足いただけるよう、レストラン運営事業者に対し必要な助言や協力を行います。

指 標	メンバーズのチケット 購入率	【現状値】38% (H27) ⇒ 【目標値】40% (H29)
	【説明】親しみやすいミュージズへの取り組みの成果を示す指標です。現状値は、平成27年度の自主事業におけるミュージズメンバーズ倶楽部会員のチケット購入率です。平成29年度では40%を目指します。	

⑤健全な事業団運営に努めます

課題

①健全な法人運営を進めます。

《現状と今後の方針》

公益財団法人所沢市文化振興事業団（以下、「事業団」）は、ミュージズの開館以来23年間にわたり施設の管理運営を行うとともに、市や地域と連携しながら様々な自主事業を実施してきました。

事業団には、これまでの活動の中で蓄積された施設維持管理のノウハウや地域とのネットワークがあり、今後もこれらを活用して地域に根ざした芸術文化の振興を図り、もって豊かな市民生活の形成と地域社会の発展に寄与することが求められています。

そこで今後は、事業団の法人としての信頼性を確保し、引き続きミュージズの指定管理者としての責務を果たせるよう、安定した組織体制の構築と組織力の強化を図るとともに、適正な個人情報の保護と積極的な情報公開に努めるなど、健全な法人運営を進めていきます。

具体的な
方策

●安定した組織体制づくり

今後も引き続きミュージズの指定管理者としての責務を果たすため、有期雇用職員の正職員登用制度の構築や採用計画の立案など、長期的視点に立った人材確保のための策を講じ、安定した組織体制づくりを進めます。

●組織力の強化

目標管理制度によりPDCAサイクルの推進と組織内コミュニケーションの活性化を図るとともに、職員の能力開発を促し、職員一人一人が問題意識をもって業務にあたり、自発的に課題改善に取り組むことのできる強い組織を目指します。

*P（Plan・計画）→D（Do・実行）→C（Check・評価）→A（Act・改善）

●個人情報の保護

業務上取得した個人情報については、利用目的の範囲内でのみ取り扱うことを厳守するとともに、情報流出を防ぐため、職員や委託業者に対し、定期的な啓発活動に努めます。また、特定個人情報（マイナンバー）については、「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」及び「特定個人情報等取扱要領」に則り厳重に管理します。更に、近年悪質化するウイルス対策として、IT関連情報の収集に努めるとともに、システムを継続的に監視するなど、セキュリティ強化を図ります。

●積極的な情報公開

事業団情報公開規程に基づき、適正な情報の開示に努めます。また、より透明性の高さが求められる公益法人として、市民等ステークホルダーに対し、活動状況や財務状況を見やすく分かりやすい表現で積極的に公開していきます。更に、昨今のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の普及に伴い、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブ等を活用し、リアルタイムに分かり易く事業内容をお知らせしていきます。

課題 ②健全な財政運営を進めます。

《現状と今後の方針》

事業団がミュージズの管理運営を行うにあたっては、公益財団法人として効率的で透明性の高い、適正な財政運営が求められており、そのためには、事業団の全ての事業活動において、定款に掲げた事業目的に則り、継続して収益の向上と経費の節減に取り組む必要があります。

そこで今後は、既存の自主事業評価表における事業実施前と実施後の検証と今後の改善を更に徹底して、収支率の向上を図るほか、予算の効率的な執行と自主財源の確保に努め、健全な財政運営を進めていきます。

具体的な の方策	<p>●予算の効率的な執行 ミュージズは開館より23年が経過し、施設設備や備品の老朽化により、修繕や更新に係る費用は必要不可欠となっています。今後は、利用者の皆様が安全・快適にミュージズをご利用いただけるよう、費用対効果を常に念頭に置き、計画的に修繕や備品更新を進めていきます。また、委託業務内容の精査、通年で節電、節水等により経費の節減に努めるほか、自主事業においては共催公演の実施や効果的な宣伝方法を実施するなど、予算を効率的に執行していきます。</p> <p>●事業評価制度の活用 自主事業の実施にあたっては、事業実施計画と実施結果の比較検証を自主事業評価表により行っていますが、今後は、導き出された改善策を更に徹底し、収支率の更なる向上に努めていきます。</p> <p>●自主財源の確保 事業団の主たる収入は、ミュージズを管理運営するための管理委託料と施設利用料金収入、チケット販売収入ですが、今後も有料広告枠の活用やオリジナルグッズ販売のほか、利用者用看板制作手数料収入や館内自動販売機の販売手数料収入等、様々な方法で自主財源の確保に努めます。</p>
---------------------	--

指 標	自動販売機手数料収入	【現状値】2,518,000円（4年間の平均）⇒【目標値】10%増（H29）
	【説明】 自主財源の確保への取り組みの成果を示す指標です。現状値は平成24年度から27年度の4年間の自動販売機手数料収入の平均値であり、平成29年度は、自動販売機の設置場所や販売商品の工夫により10%の収入増を目指します。	

⑥安全・安心な施設の維持管理に努めます

課 題 ①環境に配慮した地球に優しい施設の維持管理に努めます。

《現状と今後の方針》

事業団は、所沢市マネジメント方針を遵守し、所沢市の取り扱いに準じて施設の維持管理を進めています。このため、今後も引き続き廃棄物の減量化や再資源化、省資源・省エネルギーに取り組み、市の公共施設として、環境配慮型の市政運営に貢献できるよう、環境に配慮した地球に優しい施設の維持管理に努めていきます。

具 体 的 な 方 策	<p>●省資源・省エネルギー推進 備品等購入時には、可能な限り長期間使用できるものを選定し、資源の効率的な活用に努めるとともに、省エネルギー推進のため、施設利用者の皆様にもご協力を頂きながら、通年で空調温度の調整(冷房 28℃・暖房 20℃)を実施しております。今後も、現在取り組んでいる省エネルギー設備機器(LED電球等)の導入を拡充するなど、更なる省エネルギーに努めていきます。</p> <p>●廃棄物の減量化・再資源化の推進 廃棄物の減量化を図るため、古紙回収及び、消耗品はグリーン購入を基本としていきます。更に、再資源化を念頭に廃棄物の分別を徹底し減量化に努めていきます。</p>
----------------------------	--

指 標	温室効果ガス排出量の削減	【基準値】 2,101t-co2 (H19) ⇒ 【目標値】 1,891t-co2 (H29)
	【説明】 環境に配慮した施設運営を行った成果を示す指標です。所沢市地球温暖化対策実行計画に基づき、平成 19 年度を基準にして 10%の削減を目指します。	

課題

②安全・安心・快適な施設の維持管理に努めます。

《現状と今後の方針》

ミュージアの維持管理にあたっては、所沢市と協議しながら施設・設備の改修・修繕を実施していますが、開館から23年が経過し、施設全体の経年劣化が進んでいます。

このため、所沢市において平成30年度から大規模改修が行われる予定であり、今後は改修が円滑に進むよう全面的に協力するとともに、改修までの間、施設の利用に支障を来すことのないよう、適宜、修繕と備品の更新を進めていきます。

また、より安全・安心・快適に施設をご利用いただくためには、お客様の安全を第一に考え、迅速かつ的確に行動できる職員の配置も必要です。

このため、自衛消防・防災避難訓練、救命講習などの充実により職員全員のスキルアップを図り、安全・安心・快適な施設の維持管理に努めていきます。

具体的な方策

●小さなお子様や、身体の不自由な方、高齢者にもやさしい施設の維持管理

施設のご利用に際しては、施設で働く全ての職員が積極的にお客様へお声掛けをし、ご不便をお掛けしないように、また不自由な思いをされないように、親切な職員がいる施設を目指します。このため、平成22年度と平成27年度に実施した、小さなお子様や、身体の不自由な方、高齢者の方への対応に関する研修を平成29年度から定期的実施し、「心のバリアフリー」に努めます。

●災害時の対応についてのスキルの向上

従来職員のみで行っていた自衛消防・防災避難訓練に加え、施設利用者・来訪者の方々にも参加を呼びかけ、より実態に即したコンサート形式の訓練を平成29年度から定期的実施していきます。

また、お客様の緊急時に職員が冷静に対処できるよう、今後も全ての職員の救命講習会受講修了を目指していきます。